

日本緩和医療学会第8回関東・甲信越支部学術大会

プログラム

第1会場

09:00～09:15 オープニング四重奏

出演：群馬シティフィルハーモニーオーケストラ

09:15～09:25 開会式

大会長：田中 俊行（高崎総合医療センター 疼痛緩和内科）

09:30～10:30 特別講演①

座長：田中 俊行（高崎総合医療センター 疼痛緩和内科）

群馬県の緩和ケアはどのように興ってきたのか、その歴史と今後の展望について

斎藤 龍生（渋川医療センター）

10:40～12:00 シンポジウム①「教えて！あなたの街の緩和ケア～うちは〇〇がない！それぞれの工夫を教えて」

座長：間島 竹彦（渋川医療センター 精神腫瘍科）

笹本 肇（原町赤十字病院 緩和ケア科）

東京都大田区における地域緩和ケアー都市部だからこそその課題と大学病院の役割ー

中村 陽一（東邦大学医学部 臨床腫瘍学講座 緩和医療学分野）

うちにはがんの治療機能がない一つなぐことで支える緩和ケアー

小木曾 綾子（愛和病院）

～"じもとの情熱"と共に成長する勇気が地域を救う!？～

専門的緩和ケアアウトリーチにおける社会実証のご紹介

田上 恵太（悠翔会くらしケアクリニック練馬/東北大学大学院医学系研究科緩和医療学分野）

在宅緩和ケアでの「ない」を考える

森田 廣樹（森田クリニック）

12:15～13:15 ランチョンセミナー①

座長：田中 俊行（高崎総合医療センター 疼痛緩和内科）

オピオイドの適正使用と疼痛緩和の地域連携を考える

三浦 智史（国立がん研究センター東病院 緩和医療科）

共催：塩野義製薬株式会社

14:15～14:40 ミニコンサート

出演：ZUTTOIRU

15:40～16:30 スイーツセミナー

座長：徳原 真（東海大学医学部 緩和医療学）

患者さんの安らぎを支える、ほっとひと息つけるケアを求めて

一看護と鍼灸ができるやさしいサポーター

前澤 美代子（山梨県立大学 看護学部）

共催：日本支持・緩和医療鍼灸推進協議会

セイリン株式会社

16:40～17:40 座談会「教えて！あなたの街の緩和ケア～緩和ケア病棟 24 時！リアルな現実、苦労話を教えて～」

進行役：押本 直子（伊勢崎市民病院 緩和ケア内科）

小林 剛（渋川医療センター 統括診療部）

がん専門病院における 2 つの緩和ケア病棟の運営

坂下 美彦（千葉県がんセンター 緩和医療科）

緩和ケア病棟の再開 外科医・在宅医の視点から

砂河 由理子（とちぎメディカルセンターとちのき 緩和ケア内科）

緩和ケア医が最期まで看取る」を手放した夜 ― 医療者減少と、看取りを病院全体で分かち合う

本間 英之（新潟県立がんセンター新潟病院 緩和ケア内科）

患者の人生・価値観・意思を尊重し、その人らしい時間を支えるために

杉田 亜由美（山梨県立中央病院 緩和ケア病棟）

第2会場

10:40～12:00 パネルディスカッション「教えて！あなたの街の緩和ケア～送る側と受ける側、病院と施設の連携に注目して」

座長：山田 真紀子（群馬大学大学院医学系研究科 麻酔神経科学）

高橋 有我（二之沢病院）

独居終末期肺がん患者の在宅療養を支える地域連携の工夫

一看護小規模多機能型居宅介護併設事業所との連携を通して一

榎本 史子（新百合ヶ丘総合病院 看護部）

病院連携と訪問看護の実際

浅野 美佐（セントケア神奈川株式会社 セントケア訪問看護ステーションあさお）

急性期・慢性期・緩和ケアの医療を担う病院と藤沢市の取り組み

一藤沢市の緩和ケア病棟を有する病院のMSWの立場から

小原 由里（藤沢湘南台病院 患者総合支援センター）

地域医療と病院をつなぐ藤沢市の取り組み

一在宅療養を支えるがん看護専門看護師の立場から

日塔 裕子（合同会社 柁の木 がん看護専門看護師）

その人らしい最期をつなぐ～終末期患者の施設入所支援と連携～

北見 奈菜子（群馬県立がんセンター がん相談支援センター）

「人生のバトン」を地域でつなぐ一終末期利用者の意向を支える入居前連携の課題一

池下 未来（ケアホームこむぎ 連携室）

12:15～13:15 ランチョンセミナー②

座長：塩野 昭彦（公立富岡総合病院 泌尿器科）

腎不全患者の緩和医療 一保存的腎臓療法と緩和腹膜透析の実際一

大山 裕亮（公立富岡総合病院 泌尿器科）

共催：テルモ株式会社

16:35~17:45 シンポジウム②「教えて！あなたの街の緩和ケア～AYA世代がん患者への支援を考えよう」

座長：間宮 敬子（信州大学医学部附属病院 信州がんセンター 緩和部門）

清原 文（高崎総合医療センター 看護部長室）

明日を見つめる瞳が輝くように ～“Your School”という学習支援のあり方～

儀賀 理暁（埼玉医科大学総合医療センター 緩和医療科・呼吸器外科）

齊藤 樹（慶應義塾大学 薬学部薬学科）

AYA世代がん患者に対する当院の支援と今後の課題

南澤 晴海（長野赤十字病院 がんサポートセンター）

神奈川県における AYA 世代支援：大学病院の使命と役割 ～がん看護専門看護師の立場から～

増田 菜穂子（横浜市立大学附属病院 看護部）

群馬県若年がん患者在宅療養支援事業に関わるケアマネジャー・サービス事業所等研修事業について

新井 薫（合同会社ホスピスケア 生活相談室さくら）

17:45~18:00 閉会式

副大会長挨拶：間島 竹彦（渋川医療センター 精神腫瘍科）

次年度大会長挨拶：徳原 真（東海大学医学部 緩和医療学）

第3会場

09:30~09:45 TIPS①「どの現場でも使える緩和ケア TIPS～口渇を和らげる！口腔ケアのヒント」

座長：吉田 久美子（高崎健康福祉大学大学院 保健医療学部 看護学科）

緩和ケアチームが支える口腔ケアの実践

野村 亜矢（獨協医科大学病院 血液腫瘍内科 看護部）

09:50~10:05 TIPS②「どの現場でも使える緩和ケア TIPS～苦痛を減らす！褥瘡ケアの工夫」

座長：吉田 久美子（高崎健康福祉大学大学院 保健医療学部 看護学科）

苦痛を減らす！終末期における褥瘡ケア

岡部 美保（在宅創傷スキンケアステーション）

10:10~10:25 TIPS③「どの現場でも使える緩和ケア TIPS～快適さを守る！浮腫の様々なケア」

座長：吉田 久美子（高崎健康福祉大学大学院 保健医療学部 看護学科）

明日から役立つ進行・終末期の浮腫のケア

中辻 香邦子（筑波メディカルセンター病院 看護部）

10:30~10:45 TIPS④「どの現場でも使える緩和ケア TIPS～悪化させない！安心安全を守るせん妄ケア」

座長：森下 亜希子（桐生厚生総合病院 乳腺外科）

どの現場でもできるせん妄ケア 一悪化させないための小さな工夫

木野 美和子（筑波メディカルセンター 看護部）

10:50~11:05 TIPS⑤「どの現場でも使える緩和ケア TIPS～食べられない、食べさせたい！その間でできる栄養ケア」

座長：森下 亜希子（桐生厚生総合病院 乳腺外科）

緩和ケアにおける栄養ケア

長橋 拓（新潟県立精神医療センター 栄養課）

11:10~12:00 教育セミナー「教えて！あなたの街の緩和ケア～骨転移がんサーボード・多職種連携の現場から学ぶ」

座長：山口 重樹（獨協医科大学医学部 麻酔科学講座）

坂井 さゆり（新潟大学大学院 医歯保健学研究科）

骨転移がんサーボードを開催してみよう！～100回開催した経験から伝える開催のTips～

佐藤 信吾（東京科学大学病院 がん先端治療部・緩和ケア科・整形外科）

骨転移ケアの多職種協働、今こそ活かそう看護のチカラ

松井 美佐保（東京科学大学病院 緩和ケアチーム）

12:15～13:15 ランチョンセミナー③

座長：長岡 広香（東京都立駒込病院 緩和ケア科）

「緩和ケア患者の便秘をどう診る、どう治す？ 一病態に基づく排便管理と腸内細菌叢」

結束 貴臣（国際医療福祉大学成田病院 緩和医療科）

共催：ミヤリサン製薬株式会社

14:45～15:35 特別講演②

座長：反町 利恵（Hugheart-ハグハート訪問看護ステーション）

「共に生きること」～チームミサの寄り添い（チカラ）～

井上 有里子

16:00～16:45 事例検討①「認知症患者の自己決定を支える」

座長：廣野 正法（伊勢崎市民病院 緩和ケア内科）

本当の病名を知らずにがん治療を受けた認知症高齢者

藤原 麻由礼（山梨県立大学 認定看護師教育課程）

人生の最終段階における意思決定支援と家族ケア

～FAST7 の妻を支える夫の葛藤と多職種チームの関り～

石井 啓子（山梨県看護協会ますほ 訪問看護ステーション）

コメンテーター：小川 朝生（国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科）

16:55～17:40 事例検討②

座長：藤平 和吉（利根中央病院 精神神経科）

経済的困窮の背景にある“生きる意味”の喪失を抱えたがん患者への支援を考える

小池 由美（群馬県立がんセンター）

コメンテーター：原 敬（さいたま赤十字病院 緩和ケアセンター）